

液晶用塗布現像装置、世界シェア73%を獲得

大日本スクリーン製造株式会社は、液晶製造装置市場における塗布現像装置分野において、2008年の世界シェア73%^{※1}を獲得しました。

これは、第三者機関の液晶製造装置に関する市場調査結果^{※2}によるもので、2008年1月から12月に出荷された装置の台数を製造工程ごとに分類して集計。その中の塗布現像装置分野で、当社製品「SKシリーズ」が2007年の43%から73%へと世界シェアを大幅に伸ばし、2004年以來5年連続で世界トップシェアを堅持しました。また、ウエットエッチング装置やレジストはく離装置の分野においても、当社製品がトップシェアを獲得する結果となりました。

2003年に当社は、以前から高い品質と信頼性を備えていた塗布現像装置「SKシリーズ」に、生産性が高く、省資源・省エネルギーへの対応に優れたレジスト塗布システム「リニアコータ[®]」^{※3}を搭載したタイプを発表。従来にはなかった新しい生産手法を業界にいち早く提案したほか、幅広いガラス基板サイズや低温ポリシリコンTFT用への対応など、お客さまのニーズに応える製品開発に取り組んできました。

当社は今回の調査結果を、こうした取り組みに対するお客さまからの評価の証しととらえ、今後も液晶をはじめとするフラットパネルディスプレイ業界の技術革新やさまざまなニーズに柔軟に応える製造装置の開発に努め、さらなる顧客満足度の向上とシェアの拡大を図ります。

※1 液晶用TFTアレイ工程塗布現像装置(アモルファスシリコンTFTおよび低温ポリシリコンTFT)の出荷台数合計。

※2 出典：米・ディスプレイサーチ社(Q1 '09 Market Share & Business Conditions Report Copyright (C) 2009 DisplaySearch, LLC, an NPD Group Company)

※3 「リニアコータ[®]」は大日本スクリーン製造株式会社の日本国内における登録商標です。